

2020 年度第 1 回（通算第 35 回）POC 技術委員会
議事録

開催概要：

日時： 2020 年 10 月 8 日（金） 20：00～21：35

場所： Zoom を用いた Web Meeting

参加： 康東天、福田篤久、菊池春人、後藤慎一、岡尚人、坂本秀生、櫛引健一
小林隆、東野功嗣、奥田優子、山崎家春、竹澤理子、久保田芽里、三好雅士
太田麻衣子、服部聡、江原佳史、中村政敏、乗船政幸、繁正志、木下真紀、
木下敬一郎、竹田良子、奥村道之、フマウイド・マリジョイ、
福田滋弘、藤本弘倫、中井剛史、渋谷未来、吉尾仁美、薬師寺小百合、
樋渡亮二、工藤僚康、野村寛明、植田大輔、滝野寿、
桑克彦、山田修、♫谷直人、萱場広之（順不同、敬称略）

欠席： 福岡京子、木下陽介、竹浦久司、大戸秀夫、

記録： 岡尚人

資料；

会議議題

- 資料 1 POC 技術委員会推薦書
- 資料 2 認定 POCC 特別移行対象者の審議結果
- 資料 3-1 福田委員長 POC 技術委員会総括
- 資料 3-2 認定テキスト担当とスケジュール案
- 資料 4 第 77 回 POC セミナー企画書
- 資料 5 POC 技術委員会名簿

議題：

1. 開会宣言及び挨拶（20：00）
 - ・康担当理事挨拶
 - ・♫谷顧問挨拶
2. 協議事項
 1. 委員会へ新規参加希望企業の承認について（資料 1）
 2. 認定 POCC 特別移行措置対象者の審査結果の承認について
 3. 今後の POC セミナーについて
 - ・生物試料分析化学会（第 31 回学術集会）延期
 - ・日臨技スキルアップセミナー（福岡）での POC セミナー開催見送り
 - *今後 POC セミナーの開催回数が減少し、認定制度へ影響する可能性あり
 4. 福田委員長就任から現在までの総括と今後の展望について（資料 3）

委員会議事録：

1. あいさつ

康担当理事挨拶及び、メ谷担当顧問よりの挨拶

2. 協議事項

1. 委員会名簿と委員交代：

後藤

- ・ 以下の通り、委員の交代がなされた
 - 日臨技 岡田委員 → 竹浦委員
 - シーメンス 佐藤委員 → 竹田委員
 - アボット ダイアグノスティクスメディカル 水戸部委員 → 藤本委員
 - アイ・エル・ジャパン 二宗委員 → 植田委員
 - シノテスト 小花委員 → 野村委員
 - テルモ株式会社は過去にもセミナーの協力していただいた（櫛引委員）
 - 新規企業委員として、テルモ株式会社が委員会で承認された

2. 認定 POCC 特別移行措置対象者の審査結果の承認について 後藤

- ・ 研修修了者 181 名通知に対し 154 名の移行希望があった
- ・ 147 名のレポート提出があり、18 名の委員（認定 POCC）にて評価し、最終的に全員を合格者とした。（資料 2 参照）
- ・ 委員会にて 147 名の合格が承認された
- ・ 自分が担当した課題はしっかり書かれていた（櫛引委員）
- ・ 理事会承認を経て、事務局にて認定手続きへと進める

3. 今後の POC セミナーに関して

後藤

- ・ 課題：2021 年度はセミナー回数が確保できない
 - 2020 年に関しては、生物試料分析科学会、日臨技スキルアップセミナーでの POC セミナーの開催が見送りとなった
 - 日臨技スキルアップセミナーでの POC セミナーの開催に関しては、2021 年度以降は、日臨技にて検討中
- ・ 対策：
 - 生物試料分析科学会に関しては、各学会集会長に対し、POC セミナー開催に当たり、POC 技術委員会側より企画案を提出する必要がある（櫛引委員）
 - 共同開催の場合、各学会と費用面での問題が発生するため、日本医療検査学会としてのセミナー運営にかかわる予算化の必要がある（櫛引委員）
 - 都道府県の臨床検査技師会との連携によるセミナー企画を検討する（福田委員長）

- お金がかからないローカルセミナーの開催（地方技師会とのタイアップ）で密にならない方法が現実的ではないか（菊池副委員長）
- スキルアップセミナーは日臨技の認定制度の関するものとする方針（滝野委員）
- 認定救急との共催の可能性はある（滝野委員）
- 都臨技企画は竹澤委員の持ち込み企画で「POCセミナー」の名前も出せないが、日本医療検査科学会の費用負担もない（竹澤委員）
- 企業は Web 開催へ切り替わっているが、今後は現場での開催へ戻ると思われる（東野委員）
- 新たなセミナーの形式でないと企業はセミナーにお金が出しにくいので年度での企画をお願いしたい（小林委員）
- POC セミナーは実機を使うセミナーが望まれる（竹田委員）
- セミナー開催費用として各員会へ予算分配する時期にきたので理事会でも検討する（康担当理事）
- スキルアップセミナーでの開催に関しては今後も日臨技認定セミナーと調整する
- セミナーの在り方、新規取得単位、更新単位については継続審議とする

4. 福田委員長就任から現在までの総括と今後の展望について 福田

- ・ 冒頭で委員へのお礼と感謝の気持ちを述べられた
- ・ POC セミナーの企画・運営を行った
- ・ 認定 POC コーディネーター制度構築を行った
- ・ テキストに関しては、COVID-19 の影響にて編集作業が遅延し完成に至らなかったことを詫びられた
- ・ 認定試験に関しては、学会 Web 開催に伴い中止とした
- ・ 第一回認定試験に向け委員長として次期任期は途中までとなるが務めた意向を示された
- ・ テキスト編集については今後の最優先事項としたい
- ・ テキストは冊子として作成予定
- ・ 資料 3-1 参照

*総括に対するご意見

- ・ 九州地区での開催できたこと感謝する。今後も九州地区の認定 POCC 育成のために開催したい（中村委員）
- ・ これまでの活動に関して委員から異論はなかった

5. その他のディスカッション

- ・ 福田委員長が最終校正されたが、個人負担が大きかったので文言の統一と中身を見る人で分けたほうがよいのでは（竹澤委員）

- ・ 学会事務局で試験問題等の管理、許諾や著作権管理を行って欲しい（小林委員）
- ・ 図表の許諾使用料が高額になっている（小林委員）
- ・ 今まで冊子を年二回作成してきたが、許諾に関しては問題なかった
また、一般的に許諾を個人的にすることはなく、学会事務局で行う
許諾が取れない時は自分で作ることになる（康担当理事）
- ・ 菊池副委員長は同学院の試験担当であり、当学会の試験に関して困ったときは相談されるとよい（メ谷顧問）
- ・ 同学院は公益法人のため厳しい規則がある（菊池副委員長）
- ・ テキスト、ガイドライン等の編集時の著作権にかかわる使用許諾に関しては、学術団体としての学会事務局で実施する方向で進める
- ・ テキスト発刊をする際は、学会予算とする
- ・ 試験問題作成は、担当者 PC で作成するが、まとまった段階では学会事務局で保管、保有する方向で交渉を進める
- ・ 試験問題がかかわる事業についてのルールを作成する必要がある
- ・ 事前追加アンケート(資料：報告事項)と本会議でテキスト再編集を委員会全体で行うことに対して異論はなかった

萱場理事長より閉会挨拶

- ・ 科学技術委員会の中で POC 技術委員会は柱になり発展して欲しい
- ・ 認定試験、テキスト作成、企業共催は重要な課題であり、予算については理事会で議論する

3. 報告事項

後藤

1. 終了セミナー

第 10 回 POC コーディネーター更新セミナー：

テーマ： 「POC コーディネーターとしての役割を考える」

日時： 2019 年 10 月 4 日（金） 13：30～15：00

会場： パシフィコ横浜 第VI会場（303 号室）

参加者： 58 名

第 72 回 POC セミナー

テーマ： 「活かす！POCT 感染症検査」

～備えあれば憂いなし！POCT と感染症について学ぼう～

日時： 2019 年 11 月 24 日（日） 10：00～12：00 定員 70 名

運営： 第 66 回日本臨床検査医学会学術集会 共催企画

会場： 岡山コンベンションセンター

参加者； 140 名

第74回 POC セミナー

テーマ： 「コテコテの救急医療」～命をつなぐ医師と技師の物語～
日時： 2020年2月2日（日）10：00～12：00 定員 70名
運営： 第30回生物試料分析科学会年次学術集会 共催企画
会場： 千里ライフサイエンスセンター
参加者： 71名

第75回 POC セミナー

テーマ： 「災害医療に関して」
日時： 2020年4月24日（金）午後 定員 未定
運営： 行列のできるスキルアップ研修会XIとしての共催企画
会場： 中止

第76回 POC セミナー

テーマ： 「検証！新型コロナウイルス感染症に POCT は活用できたか」
日時： 2020年10月1日（木）～31日（土） 配信中
会場： Web
アンケート： 15名（10月8日現在）

第11回 POC コーディネーター更新セミナー

テーマ： 「認定 POC コーディネーター資格制度発足に際し目指すこと」
日時： 2020年10月1日（木）～31日（土） 配信中
会場： Web
アンケート： 13名（10月8日現在）

2. 今後のセミナー

第77回 POC セミナー企画に関して（資料参照）

テーマ： 「在宅医療への臨床検査の関わり」
日時： 2020年11月22日（日）13：30～15：00
会場： 盛岡
開催： 日本臨床検査医学会との共催
申し込み： 8名(10月8日現在)

3. 次回委員会

日本医療検査科学会 春季セミナー2021年4月17日（土）～18日（日）
学術委員会は17日（土）時間未定 会場：沖縄県市町村自治会館

以上、

第 77 回 POC セミナー企画書

第 67 回日本臨床検査医学会学術集会主催

テーマ	在宅医療への臨床検査の関わり
サブタイトル	～現状を知り考える～
概要	厚生労働省は団塊の世代が後期高齢者となる 2025 年を目途に、地域包括ケアシステムの構築を進めている。その中で在宅医療についても推進の方向性が示されている。臨床検査従事者の資質、検査機器・試薬についても体制の構築が進められているが、まだ手探り状態である。そこで、実際に在宅医療に携わっている方から現状と課題を聴き、現場で求められる臨床検査（POCT を含む）について学び考える機会とする。
実施概要	
開催日時	2020 年 11 月 22 日(日) 13:10～15:10
開催方法	WEB 配信を併用したハイブリッド方式 LIVE 配信（学会場以外）
取得単位	2 時間 2 単位(総論・測定技術論) 検査専門医認定単位 1 または 2(地域医療カテゴリ) 臨床検査専門医 単位
募集人数	制限なし
参加料	学会登録が必要(学会参加費に含まれる)
セミナー 実務委員 敬称略	奥田 優子 東邦大学医療センター大森病院／JSCLA POC 技術委員会 乗船 政幸 独立行政法人国立病院機構福山医療センター／JSCLA POC 技術委員会 岡 尚人 ラジオメーター（株）／JSCLA POC 技術委員会委員事務局補佐 (敬称省略)
プログラム	
座長:	菊池 春人 慶応義塾大学 臨床検査医学講座 乗船 政幸 独立行政法人国立病院機構 福山医療センター
講師:	山中 崇先生 (東京大学大学院医学系研究科 在宅医療学講座 教授)
演題:	在宅医療の現状と臨床検査への期待
講師:	北澤淳一先生 (青森県立中央病院 検査部長)
演題:	在宅輸血の現状と POCT・臨床検査への要望
共催	日本臨床検査医学会 日本医療検査科学会